

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立静岡聾学校 P T A
学 校 名	静岡県立静岡聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	31人

1. 使用状況

寄贈物品名	幼・小児用オーディオメータ(聴力測定器)
使用学年及び人数	本校在籍幼児児童生徒 31人 通級指導教室サテライト教室在籍児童生徒 11人
使用頻度	毎週1回程度
使用状況	幼稚部、小学部、中学部、地域支援部に1台ずつ設置し、週に1回、朝の会で聞こえのチェックを行っている。 通級指導教室の島田サテライト教室と牧之原サテライト教室にて、聴力のチェックに活用している。
物品の使用による変化や効果	毎週、聞こえのチェックを行うことで、生徒のわずかな聞こえの変化に気づき、防音室での聴力測定につなげ、保護者へ連絡することができた。その結果、生徒の人工内耳の故障にいち早く対応することができた。 乳幼児教室では、慣れた教室環境で聴力測定の練習をすることができた。 通級指導教室のサテライト教室は、市の施設の一室を借りて使用しているため、本校のような聴力測定の機器や防音室を備えていない。そのため、持ち運べるオーディオメータがあることで、通級生の聞こえの状態をきちんと把握することができた。また、通級生自身の聞こえの状態を学習することで、在籍校での聞こえにくさを学級の友達に伝えるときの手立ての一つとなった。サテライト教室は同日に2か所で行われているため、今回の寄贈により台数が増え、毎週活用することができた。
今後の活用の見通しや課題	今後も、定期的な聞こえのチェックを実施し、聞こえの変化にいち早く対応できる体制を整えたり、聞こえ方を児童生徒と確認し、児童生徒の障害認識を促すために活用したりしていきたい。朝の会でのチェックは他の行事や予定により継続的に行えない学級もあったため、学部内の担当等が呼びかけたり、機器の設置場所を工夫したりして定期的なチェックを促進していきたい。
その他希望や所感など	申し込み当初は、校内での活用のみを検討していたが、本校と同じような設備の無いサテライト教室でも聞こえのチェックに活用することができ、本校の在籍児だけでなく、通級生にも活用することができたので、良かった。

2. 活用の様子

教室にて、聴力チェックをしている様子。
子どもの斜め後ろから音を提示し、聞こえたときは手を挙げたり、返事をしたりしています。
教室で行うため、子どもたちのいつもの生活環境の中で聞こえの様子を見ることができます。
また、わかりやすい方法なため、幼児でもすぐに取り組むことができます。
このチェックでは、毎回、同じ時間帯に同じ場所から同じ大きさの音が聞こえているか確認しています。



サテライト教室では、聞こえのチェックを行った後、児童生徒自身が記録を記入し、聞こえの自己管理につなげています。



PA5は、聴力測定室に保管するのではなく、職員室の入口付近に目立つように設置し、利用しやすい環境を作っています。